目次

はじめに

このたびは、FMV-LIFEBOOK、FMV-STYLISTIC（以降、本パソコン、またはパソコン本体）をご購入いただき、まことにありがとうございます。
本書は、パソコン本体に搭載されているセキュリティボタンの基本的な取り扱いについて説明しています。
ご使用になる前に本書およびパソコン本体のマニュアルをよくお読みになり、正しい取り扱いをされますようお願いいたします。

2005 年 10 月

本書の表記

■本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
重要	お使いになる際の注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
POINT	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
→	参照ページを示しています。

■連続する操作の表記

本文中の操作手順において、連続する操作手順を、「→」でつなげて記述しています。

例：「スタート」ボタンをクリックし、「すべてのプログラム」をポイントし、「アクセサリ」をクリックする操作

↓

「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」の順にクリックします。

■イラストについて

表記されているイラストは一例です。お使いの機種やモデルによって、イラストが異なることがあります。また、このマニュアルに表記されているイラストは説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

■製品の呼び方

本文中の製品名称を、次のように略して表記します。
なお、本書ではお使いの OS 以外の情報もありますが、ご了承ください。

製品名称	本文中の表記	
Microsoft® Windows® XP Professional	Windows XP	Windows
Microsoft® Windows® XP Home Edition		
Microsoft® Windows® XP Tablet PC Edition 2005		

商標および著作権について

セキュリティボタンについて

本パソコンは、他人による不正使用を防止するため、セキュリティボタンによるセキュリティ機能をサポートしています。
添付のアプリケーション「セキュリティボタン」をインストールし、パソコン本体のセキュリティボタンでパスワードを設定することにより、使用することができます。
パスワード設定後は、正しいパスワードを知っている人以外は本パソコンを使用できなくなり、他人による不正使用を防ぐことができます。
本書では、セキュリティボタンを使用して、パソコン本体にパスワードを設定する方法や、セキュリティを解除する方法を説明します。

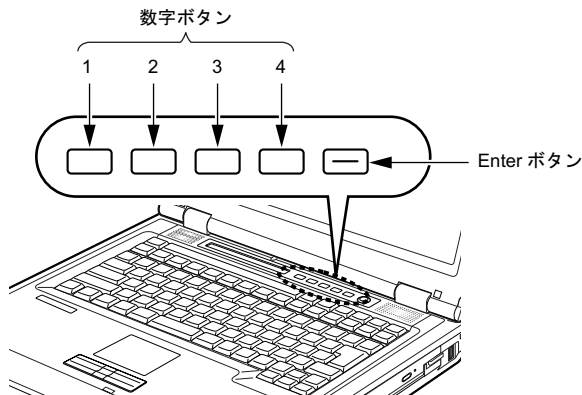
POINT

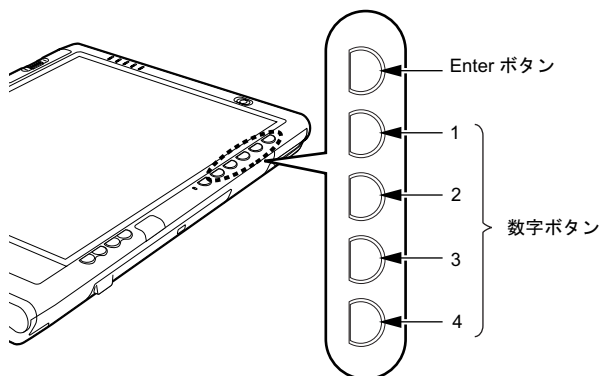
- **一部の機種では、セキュリティボタンをワンタッチボタンとして使用することができます。**
  ワンタッチボタンとして使用できる機種か確認する場合は、パソコン本体のマニュアルより「各部名称」－「パソコン本体前面」をご覧ください。
  また、ワンタッチボタンとして使用するには、「ドライバーズディスク」内の「ワンタッチボタン設定」をインストールする必要があります。
  「ワンタッチボタン設定」については、パソコン本体マニュアルの「ソフトウェア」－「ソフトウェア一覧」、および「ワンタッチボタン設定」のヘルプをご覧ください。

名称と働き

セキュリティボタンには、「数字ボタン」と「Enter ボタン」があります。

- **数字ボタン**
  パスワードを入力するときに押します。
- **Enter ボタン**
  パスワードを設定するとき、または入力したパスワードを確定してセキュリティを解除するときに押します。

■ FMV-LIFEBOOK シリーズ

（イラストはモデルや状況により異なります）

■FMV-STYLISTIC シリーズ

（イラストはモデルや状況により異なります）

作業の流れ

ここでは、セキュリティボタンを使用するまでの流れを、簡単に説明します。詳しくは、各項目の説明をご覧ください。

1. **「セキュリティボタン」をインストールする（→ P.5）**
2. **セキュリティ管理者用のパスワードを設定する（→ P.8）**
3. **ユーザー用のパスワードを設定する（→ P.8）**

「セキュリティボタン」をインストールする

ここでは、添付のアプリケーション「セキュリティボタン」をインストールする上での動作環境、およびインストールについて説明します。

■動作環境

「セキュリティボタン」のインストールを行う前に、次の条件を満たしているか確認してください。

項目	動作環境
ハードウェア	セキュリティボタンが搭載されているパソコン
対応 OS	Windows XP
ハードディスク	2MB 以上の残り容量

■「セキュリティボタン」をインストールする

「ドライバーズディスク 」から、管理者用セキュリティボタン（セキュリティボタン for Supervisor Version 1.2A）、およびユーザー用セキュリティボタン（セキュリティボタン Version 1.2A）をインストールします。
「セキュリティボタン」のインストール方法は、パソコン本体マニュアルの「ソフトウェア」－「ソフトウェア一覧」、および「セキュリティボタン」のソフトウェア説明書をご覧ください。
なお、「セキュリティボタン」のソフトウェア説明書は、管理者用（ReadmeS.txt）とユーザー用（ReadmeU.txt）の 2 種類あります。該当するファイルをご覧ください。

パスワードを設定する

ここでは、設定できるパスワードの種類やパスワードの設定方法について説明します。

■パスワードの種類

「セキュリティボタン」を使用して設定できるパスワードは、次の2種類です。
お使いのパソコン1台につき、管理者用パスワードとユーザー用パスワードをそれぞれ1つずつ設定できます。

- **管理者用パスワード**
  本パソコンを管理する方が使用するパスワードです。パスワード機能を使用するときは、必ず設定してください。
- **ユーザー用パスワード**
  本パソコンをお使いになる方が使用するパスワードです。ユーザー用パスワードが設定されていない場合には、パソコン本体にセキュリティがかかりません。必ず設定してください。

■パスワードを設定する

パスワードは、4つの数字ボタンを1つずつ押したり、同時に押したりする操作を1～5回繰り返したものを設定することができます。

- **1回に押すボタンの組み合わせは、次のとおりです。**
  - 1つのボタンのみ押す
  - 2つのボタンを同時に押す
  - 3つのボタンを同時に押す
  - 4つのボタンを同時に押す
- **有効なパスワードの組み合わせには、次のようなものがあります。また、複数のボタンを同時に押す場合は「+」でつないで表しています。**
  - 2+3、1を押し、Enterボタンを押す
  - 4を押し、Enterボタンを押す
  - 1+3、2+3+4、1、4、2を押し、Enterボタンを押す

重要

- 管理者用パスワードを設定する前にユーザー用パスワードを設定しようとすると、メッセージが表示されます。管理者用パスワードを設定した後にユーザー用パスワードを設定してください。
- 設定したパスワードを忘れると、パスワードを変更できなくなったり、パソコン本体を起動できなくなったりします。
- 管理者用パスワードを忘れると、パスワード機能を解除できなくなり修理が必要になります。設定したパスワードを忘れないように何かに書き留め、安全な場所に保管しておくことをお勧めします。なお、管理者用パスワードを忘れてしまった場合は、「富士通ハードウェア修理相談センター」までご連絡ください。保証期間にかかわらず修理は有償となります。
- ユーザー用パスワードを忘れた場合は、セキュリティ管理者がユーザー用パスワードを変更することにより、パソコン本体を使用できるようになります。
- 管理者用「セキュリティボタン」では、パスワードを変更したり削除したりするときに、誤ったパスワードを何度も入力することができます。管理者用パスワードを設定した後は、管理者用「セキュリティボタン」をアンインストールすることをお勧めします。
  アンインストールについては、「「セキュリティボタン」をアンインストールする」（→ P.11）をご覧ください。

□ 管理者用パスワードを設定する

管理者用パスワードを設定するときは、管理者権限を持ったユーザーとしてログオンしておいてください。

1 **「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。**

2 **「名前」の欄に次のように入力し、「OK」をクリックします。**

```
fjsecs
```

このあとは、メッセージに従って管理者用パスワードを設定してください。

□ ユーザー用パスワードを設定する

ユーザー用パスワードを設定するときは、管理者権限を持ったユーザーとしてログオンしておいてください。

1 **「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「セキュリティボタン」→「セキュリティボタン」の順にクリックします。**

このあとは、メッセージに従ってユーザー用パスワードを設定してください。

セキュリティを解除する

パスワードを設定した場合、本パソコンの起動時やレジューム時に、パスワードを要求されます。
パスワードは、パソコン本体のセキュリティボタンを使用して入力します。また、管理者用パスワード、ユーザー用パスワードのどちらを入力しても、セキュリティを解除できます。

POINT

- BIOS セットアップの「セキュリティ」メニューで、「レジューム時のセキュリティボタン」を「使用しない」に設定している場合は、本パソコンのレジューム時にパスワードの入力を要求されません。ご購入時は「使用する」に設定されています。
- 次のような場合には、パスワードの入力を要求されません。
  - ・モデム着信によるレジューム時
  - ・LAN によるレジューム時
  - ・本パソコンの再起動時

■セキュリティの解除方法

1 本パソコンの電源を入れるか、レジュームします。

状態表示 LCD または状態表示 LED のセキュリティの表示（O‑π）が点灯します。
電源の入れ方は本体に添付の『取扱説明書』を、レジュームについてはパソコン本体マニュアルの「機能」－「省電力」をご覧ください。

2 管理者用パスワードまたはユーザー用パスワードを入力し、Enter ボタンを押します。

本パソコンが使用できるようになります。

POINT

- レジューム時に状態表示 LCD または状態表示 LED のセキュリティの表示（O‑π）が点灯しない場合は、電源ボタンを押してください。
- 誤ったパスワードを 3 回入力すると、約 1 分間警告音が鳴ります。
  - ・警告音が鳴っている間に正しいパスワードを入力すると、警告音が止まり、本パソコンが使用できるようになります。
  - ・警告音が鳴っている間に正しいパスワードを入力しないと、元の状態に戻ります。もう一度手順 1 からやり直してください。
- 起動時の自己診断テストでエラーが発生した場合は、「セキュリティボタン異常」というエラーメッセージが表示されます。電源を入れ直しても本メッセージが表示されるときは、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。

パスワードを変更する／削除する

管理者用パスワードの変更／削除は、セキュリティ管理者のみ行えます。ユーザー用パスワードの変更／削除は、セキュリティ管理者およびセキュリティ管理者以外の方のいずれも行えます。

1 「管理者用パスワードを設定する」または「ユーザー用パスワードを設定する」の手順に従って、「セキュリティボタン」を起動します。

この後は、メッセージに従って操作してください。

POINT

- 操作の途中で現在のパスワードを入力する画面が表示されます。「ユーザー用パスワードを設定する」の手順で「セキュリティボタン」を起動した場合は、3 回間違えると「セキュリティボタン」が起動しなくなります。この場合は、「管理者用パスワードを設定する」の手順で「セキュリティボタン」を起動し、ユーザー用パスワードを変更または削除してください。
- 管理者用パスワードを削除すると、ユーザー用パスワードも削除されます。

「セキュリティボタン」をアンインストールする

「セキュリティボタン」をアンインストールするには、次の 2 つの方法があります。

- **パスワードを設定したままアンインストールする**
  パスワードを変更しない場合に行います。「セキュリティボタン」をアンインストールしても、設定したパスワードは消去されません。
- **完全にアンインストールする**
  パソコン本体をパスワードで保護する必要がなくなったときに行います。必ず設定されているパスワードを削除してから、「セキュリティボタン」をアンインストールしてください。

POINT

- 「セキュリティボタン」をアンインストールした後にパスワードの変更や削除などを行いたい場合は、もう一度インストールしてください。

■管理者用「セキュリティボタン」をアンインストールする

1. **「スタート」ボタン→「コントロールパネル」の順にクリックします。**
   「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。
2. **「プログラムの追加と削除」をクリックします。**
3. **表示される一覧から「セキュリティボタン for Supervisor」を選択します。**
4. **「変更と削除」をクリックします。**
   アンインストールを確認する画面が表示されます。
5. **「OK」をクリックします。**

■ユーザー用「セキュリティボタン」をアンインストールする

1. **「スタート」ボタン→「コントロールパネル」の順にクリックします。**
   「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。
2. **「プログラムの追加と削除」をクリックします。**
3. **表示される一覧から「セキュリティボタン」を選択します。**
4. **「変更と削除」をクリックします。**
   アンインストールを確認する画面が表示されます。
5. **「OK」をクリックします。**